

**平成 27 年度 第 3 回 千曲市食料・農業・農村政策審議会  
議 事 録**

日 時： 平成 27 年 11 月 4 日(水) 13：30～16：00

会 場： 千曲市役所 上山田庁舎 302 会議室

出席者： 木村会長、松澤副会長、関口委員、春日委員、村松委員、春原委員、西澤委員、  
高村委員、池田委員

欠席者： 久保委員、城本委員、宮坂委員、塚田委員、宇田川委員

その他： 事務局、支援業者 SCOP

議 題： (1) 千曲市食料・農業・農村基本計画の見直し・骨子について  
(2) 千曲市食料・農業・農村基本計画の見直し・LP 事業について

-----

1 開会

2 会長あいさつ

3 議 事

**千曲市食料・農業・農村基本計画の見直し・骨子について**

事務局より骨子（案）を一括して説明

	— 第 1 章 計画の基本事項 —
委員	送付された資料の字が小さく、事前に送付されてから審議会までの期間も短い。また、皆さんにしっかり目を通していただくためにも送付された資料を審議会当日に持参し、当日の資料にしてはいかがか。
会長	そのようにするのがよろしい。
事務局	10 日前までには送付し、審議会当日の資料についてもご指摘のとおり対応いたします。
会長	今回の計画は 1 次計画の実施状況等を踏まえた上で変更した内容であることを明記し、基本計画中にその旨を位置づける事が必要。全面的な改定ではないという事をしっかり明記してほしい。
副会長	第 1 章では現状分析がデータ等を使用し、よくなされている。この現状を踏まえた内容を第 2 章以降にしっかりと反映させるべき。 例えば、「農業構造の変革が求められる」と記載があるが、これに基づいた内容を計画に落とし込んでいく必要がある。 p.8 の計画の目的の中に「農業と地域の活性化を目指す」とあるが、「農業構造の変革と地域の活性化を目指す」と改めて、前段まで述べられた内容をぼかす事の無い様に配慮していただきたい。 p.9 の各主体の責務とその役割の中に 4 つの推進主体に分けられているが、条例では「～やらなければならない」とした強い語尾で結ばれている。よって、この項目についてもそのように条例に合わせた変更をしていただきたい。事業者で

会長	<p>の項目で見ると、「商品の提供に努めるとともに、安全で安心できる食料の円滑かつ安定的な供給に努めるものとする。」ではなく、「商品の提供と、安全で安心できる食料の円滑かつ安定的な供給に努めなければならない。」とするべき。</p> <p>計画と条例の関係や、市の他の関係計画との整合がについているのか。例えば、産業振興ビジョンとの文言との整合が特に気になる。これらの調整も必要。</p> <p>また、条例上の 12 施策を今回 7 施策に変えてしまうことは果たしてよいのか。条例改正まで検討課題に入れながら考える必要が出てくる可能性も。全般的に他の計画との整合性には注意していただきたい。</p>
会長	<p>当計画ではLP事業を設定する事で先行的に課題解決にあたるのが特徴的である。去年までの審議では、LP事業をこなす事だけが目的となってしまうっており、施策や他LP事業等との関連性がとれていないとの指摘もあった。</p> <p>また、今回 p.11 で重点施策が新たに設定された事も大きな変更点である。</p>
会長	<p>さらに意見がある場合は、私か事務局までご連絡を。</p>
	<p>— 第 2 章 千曲市の食料・農業・農村の現状と課題 —</p>
会長	<p>第 2 章では前回の審議会において、千曲市としての特色をしっかりと記載してほしいとの意見があり、それらに基いて事務局で変更をしていただいた。この章では後に続く第 3 章以降との整合をとらなければならない事も課題である。</p>
委員	<p>全体的に図が多く入れられているが、現在の市の状況はよく分かる。しかし、過去との比較があまりされていないように感じるので、そのような比較図をさらに多く挿入する事がよいのでは。例えば p.21 の農業部門別販売額において平成 22 年の各作物ごとの割合が示されている箇所は改善の余地がある。</p>
会長	<p>全般的にグラフの単位が示されていないので分かりづらい。改善が必要。また、各図表ごとに棒グラフや円グラフ等の統一感が無く分かりづらい。</p>
SCOP	<p>グラフの入れ方として、実数により年次ごとの経年変化を見るパターンと県や全国と市の比較を見るパターンの 2 つが大きく分けてあるが、双方を全ての事項に対して入れてしまうと膨大な量になるため、その都度判断してどちらか入れるようにしている。今後出来る範囲で経年変化の図の挿入をしたいが、農林業センサスの市町村別データの範囲が縮小した経過等もあるので、都度判断を行い対応して行きたい。</p>
会長	<p>今回の審議を踏まえ、図やグラフのデータの問題については事務局と支援業者のSCOPで判断してもらう事がよろしい。図やグラフから何を言いたいのか、目的をはっきりさせ、文脈に対応したデータを載せることをお願いしたい。</p>
委員	<p>例えば p.20 の販売目的の作物の栽培面積の図であるが、面積の全体数を合わせて載せておいてほしい。そのようにすれば、とても読みやすい。全般的に全体数や絶対数を載せる事が必要。</p>
委員	<p>p.21 の農業産出額であるが、H16、H17、H18 の比較をしてある。近い年次ではなく 10 年程度間隔をあけた数字のほうがより変化が分かりやすい。</p>
会長 事務局	<p>農業産出額については細かいデータはあるのか？</p> <p>平成 19 年頃に市町村別データの公開範囲が狭くなったため、現状として近年の数字が出せない状況となっている。今回の計画でのデータ連載や報道等も含め数字を出す際は出典を明確化し細心の注意を払っている。</p>
委員	<p>p.20 に記載されている栽培面積に関連して、各品目ごとの面積や販売額の数字は出るのか？</p>
SCOP	<p>出せます。p.18 の作物別経営耕地面積において示している。</p>
委員	<p>元の統計を見やすいように加工してほしい。</p>
会長	<p>一つの図に関連して必要事項は書かれたほうが良い。</p>

SCOP 会長	出来る限り反映させます。 p.19 に地区別で耕作放棄面積の推移が記載されているが、ここでは屋代、埴生、杭瀬下、稲荷山等の耕作放棄地率が多い状況となっている。これ以降のページについては、中山間地域で耕作放棄地が多いと説明しているが、整合が取れない。データの分析に対応した内容に変更してほしい。集落単位での現状、例えば、山手沿いや平地での耕作放棄地の現状を反映させ、データが入れられるものならば入れることでより鮮明な実態が把握できるのでは。検討していただきたい。
副会長 会長	第3章以降にも中山間の記載があった。その整合も必要。 重点施策でワイン用ぶどうと姨捨の棚田米に触れているが、前回の審議会で一番多く「あんず」の言葉が出てきた。特産物としてもあんずが筆頭である。その現状がありながら、重点施策や実行段階であんずの標記が少ないのはいかがなものか。改善が必要。
事務局	p.21 の農業部門別販売額で、その他の作物が 58.2%を占めている。一番大きな割合の部分なので、記述して何か示してほしい。
会長	その他の部分については、きのご類が占めていると想定される。現在農林水産省に確認して調査している。判明次第、文章中に標記する。
SCOP	生産農業所得統計では栽培きのご類が一番多いと示されている。この部分について改めて更新していただきたい。
会長	その他の作物として栽培きのご類が多くを占めていると想定される。具体的な内訳については調査中。 また、1次計画ではきのご類は食品製造業として判別されるとして、農業部門別販売額等からは除外している。
委員	今回は6次産業化も含めて見直しを行っている。1次計画同様に加工業を切り捨てるのはよろしくないと思われる。
委員	通常、その他が半分以上の円グラフは存在しない。詳細の品目については必ず注釈してほしい。見やすい内容をお願いしたい。
会長	農業だけの側面で考える時代ではなく、多くの業種等の多様な関係性の中での農業を見つめる事が必要。農業には生産～加工～流通～諸費者までの多様な人間が関わり、地域産業としての面で捉える必要がある。現在の計画は1次の見直しという中で、その枠を飛び出すのは難しいという話があったが、現状は儲かる農業や新しい農業を考えなければならない時代だ。これから先のLP事業や施策はそのような時代背景を踏まえたくて変更する必要がある。 例えば、審議の中に産業ビジョンや他計画との整合をとる話があったが、むしろ各種計画は計画のための計画となり、陳腐化している実情があると思われる。そのような類や条例の言い回し等に捉われすぎると現状課題の解決にそぐわない計画になる恐れがある。 また、6次産業化や担い手等含め、新規就農者にどのような対策を行い、どのように赤字経営を脱却するか、そのような視点が必要になる。このような視点をLP事業や施策に取りこんでいただきたい。
会長	例えば、原材料の生産から工場での加工の流れについても計画中に記載があると分かりやすい。
会長	また、現状と課題の章なので、しっかりと現状把握し、現状を記載して次の章へ進めていくことで、筋の通った計画となる。
副会長	p.33 の今後の千曲市の「食料・農業・農村」の課題の分野では、「姨捨の棚田」「あんずの里」の記述があるが、各地域や中山間地域の耕作放棄地の状況を前段までにしっかりと反映させないと、この部分の課題の記述につながっていかない。 p.32 の(1)の前段の3文であるが、かなり課題整理を行い、前向きに記述しているが、これらを具体的に実行していくため、戦略的な部分を前向きに打ち出

会長	<p>していく必要があるのでは。市全体との調整を図らなければならない事に一定の配慮が必要かもしれないが、この部分をしっかり記載しないと、また前回までの計画と同じ繰り返しになってしまう。</p> <p>まずこれらの指摘内容がしっかり反映されているかの精査からはじめ、再検討していただきたい。</p>
会長	<p style="text-align: center;">— 第3章 計画の基本理念と目指す将来像 —</p> <p>重点施策において、前回審議までの担い手の確保、荒廃農地増加の抑制、多面的機能の確保のみならず、今回の審議ではワイン用ぶどうの栽培振興、姨捨棚田米のブランド化が新しい芽として加えられた。しかし、ワインにしてもブランド米にしても計画の流れからすると唐突すぎる気がする。完全な新規活動だけでなく、例えばあんずのように継続して取組が行なわれているものへのスポットあても必要では。</p>
副会長	<p>p.35 の「千曲の暮らしを支える農を地域でともの支える」としてあるが、あえて「千曲」とした意味は？</p>
事務局副会長	<p>特に重要な意味はないと想定されますが、千曲市のことを指しています。</p> <p>その後に続く説明文章の中では「千曲市」として標記がされている。不思議に感じる。</p>
委員	<p>また、p.38 の重点施策にあんずが抜け落ちている。あんずは減少しているという現状はあるが、やはり当市の特産品として位置づけがされている。地域の活性化に繋げるためにもあんずに対しての施策を明記するべき。</p>
委員	<p>今回の審議会の意見を反映させるのでは、あんずの施策は必ず入れるべき。あんずと姨捨の棚田は千曲市としての重要な位置づけである。</p>
委員	<p>あんずの木が減少しているという事も課題としてあげるべき。現在、1万本を切っている。</p>
委員	<p>あんずは全国的にも千曲市としてのPRポイントなので、前面に出してほしい。ワインについては近年取り上げられ始めているが、まず、象徴であるあんずを入れるべき。</p>
委員	<p>表題が「新しい芽を成長させるための重点施策」であるので御幣が無い様に設定したい。</p>
委員	<p>あんずに関する新しい芽を考えて記載すると良い。</p>
委員	<p>表題を変更する事も検討してはどうか。</p>
委員	<p>ワインを設定するのはいかがなものか。</p>
委員	<p>ワインはマスコミでも取上げられ、比較的目標が目立つが、姨捨棚田米やあんず等の昔から千曲市に存在する資源の部分の部分を肉厚に載せたほうが良い。</p>
副会長	<p>重点施策の項目の表題の書き方も検討して、あんずも入れていったらよい。</p> <p>あんずは新しい品種が盛んに打ち出されており、このような動きを産地として新しい動きへどのように反映させていけるか。千曲ブランドの新規認定商品や産学官での調査も新しい動きである。このように新たな発想を大事にし、広げていく取組が6次産業化や多様な動きにつながり、最終的に市の活性化になってゆく。</p>
委員	<p>また、あんずは市場の要望どおりの物量がない。そのような現状を把握した上で、加工を含めた生産活動、政策を打ち出していかなければならない。</p>
委員	<p>品種改良により生で食べられるあんずが多く出てきているので、そのような取組みを応援していくこと。</p>
会長	<p>これらのあんずへの取組が多面的機能の保全やブランド化等多くの取組に関わっていき、プラスになっていく。</p>
委員	<p>最近、しなの鉄道姨捨駅に「ろくもん」が乗り入れた事が話題になった。その</p>

委員	<p>中で市外から来たお客さんが姨捨の棚田米の存在や姨捨の存在に感銘を受けていたシーンがあった。観光と棚田米は結合が可能である。あんずに関しても観光と結合していけばいい動きが出来ると思う。</p> <p>p.38 の重点施策の「新しい芽を成長させるための重点施策」であるが「新たな発想」として文言を記述したほうがよいかと思う。</p>
委員	<p>重点施策の中に、荒廃農地の対策として市民農園推進を入れていただきたい。企業農園や家庭菜園の推進もこれに当たる。市民総農業として市民全員が農業体験ができるような仕組みづくりも重点的に実施していただきたい。家族全員で農業体験を行う事が子どもたちにも好影響を及ぼす。企業においても農業に取組み、業績が伸びているとしたケースもある。市民農園をあちこちに作っていただきたい。</p>
会長 副会長	<p>LP 事業や施策において具体的に検討していけばどうか。</p> <p>p.36 の目指す姿を実現するための基本施策の文中の最後の部分であるが、「保全的な農業を維持させるため、小規模農家や高齢化した農家が営農を続けられる支援を行いません」と記載されている。しかし、高齢農家の方が農業を維持していくのには限界があり、新たな担い手へ引継いでいかなければならない。</p>
会長	<p>もっと地域の中での組織化やグループ化を推進し、そのような形態へ転換していくことで地域の農業を守る事が地域の活性化につながっていく。</p> <p>以上の意見以外で、まだ指摘等がある場合は事務局へご連絡を。</p>

## 千曲市食料・農業・農村基本計画の見直し・LP 事業について

事務局より LP 事業（案）を一括して説明

会長	<p>LP 事業は 1 つの LP のみならず多くの LP と関わりがあって機能している。前年度審議会までにそれについて図を整備した。まずは、LP 事業の説明としてこの図を使い、LP が相互に関係しているという事を基本計画中で説明してほしい。千曲市の基本計画の特徴は LP 事業であり、他には見られない試みである。</p>
委員	<p>p.12 の LP7 多様な担い手の農業参加と育成支援の中に平成 32 年度までの目標があり、アグリサポーター制度の登録者目標も掲げられている。しかし、表中央部の見直し箇所の内容にアグリサポーターについて一切触れられていない。目標が記載してあって、取組内容が未記載とはいかがなものか。そこにアグリサポーターの記述を入れたほうが良いのでは。</p>
事務局	<p>援農ボランティアの募集という項目の一部としてアグリサポーター制度は存在している。しかし、そのような御幣があるとの指摘を受け止め、アグリサポーターという具体的名称も使用していきたい。</p>
委員	<p>目標に数字が記載されているが、数字が変わらない箇所がある。目指す数値をしっかりと設定したほうが良いのでは。</p>
会長	<p>目標値をあげて達成するには、具体的にどのような取組を行なうかが必要になる。例えば棚田オーナー制度の担い手の組織の将来像まで見えているか。アグリサポーター制度では支援する人をどのように確保するか。その過程が抜けたまま数値を設定しても計画とは言えないのでは。目標値をあげるのは良いが、その目標を達成するまでの過程まで計画しなければいけないのでは。</p>
委員	<p>高齢農家対策としてアグリサポーター制度は機能しているが、逆にお金の出し手に対する支援をしていかないと農地の保全は行なえない。取り組みの内容についての検討も必要な気がする。</p>
会長	<p>数値の設定の前提となっている事が何か説明しなければならない。基本計画を達成するためにはその前提となっている背景が市民全体に認識され、どのような</p>

委員	状況の下 LP 事業が生まれたのか、納得していただかなければならない。 過去に「100 人の村」という本があったが、千曲市の農業についても「千曲市の農業が 100 人の村だったら」というようにしたら分かりやすくいいなと思ったことがある。現在の基本計画案はたくさんのデータ等が駆使され、詳細の内容が記載されているが、市民から見ると難しい内容である。市民から見ても一目分かるように言葉や絵で、冊子にしたらどうか。
委員	アグリサポーターの 44 名は実際に何人雇用されているのか。
事務局	申し込みは実際に 44 名以上おり、その内 44 名が雇用、登録されています。
会長	数値目標については、これまでの審議内容を元に再検討することがよい。
委員	数値目標が記載されているが、本当にこの数字で千曲市の農業は大丈夫か。より大きな目標をあげては。
会長	いっぺんに問題を解決は出来ないので、地道にワンステップずつ段階を追って達成していくことが必要。LP 事業の性格づけもしっかり前段に記載しないとこれが全てと捉えられる。LP 事業はあくまでも計画達成のための先導的な役割を示している。
委員	自分の立場からすると、実際に記載されている内容が達成できるのか不安である。計画は計画だろうが、市民が一目瞭然の内容を作ってほしい。
会長	これまでの審議会の意見等を計画に反映させ、実行していただくのが審議会の目的であり、検討して、よりよいものへ変更していく。
委員	姨捨の棚田、あんずの加工品は市内で作られているので、そのようなものも地域活性化に十二分に使ってほしい。
会長	現在までの審議内容を踏まえた上での LP 事業（案）を再度提出していただくことでよいか
事務局	次回の審議会において今回の意見を踏まえた案を再度提出する。
委員	斜線で引かれている、今回の新 LP 事業で消された内容はどうなったか。
事務局	— 削除した LP 事業について資料 2 を使用して説明 —
会長	では、今回の審議内容以外にも指摘事項があれば直接事務局をお願いします。

#### 4 その他

情勢報告 「姨捨棚田オーナー制度 20 周年の開催」  
「東京都内への販路開拓」について

#### 5 閉会

以上